

2023年卒の就職・採用市場



大卒求人倍率、学生の志向など、2023年卒就職・採用環境の概観は？

大卒求人倍率は1.58倍で前年から回復傾向

コロナ禍で大学生活の大半を過ごした2023年卒の学生の就職・採用活動。まずは環境について概観する。

「ワークス大卒求人倍率調査」(グラフ①)によると、2023年3月卒業予定の大学生・大学院生対象の求人倍率は1.58倍で、2022年卒の1.50倍から微増した。コロナ禍前の水準(1.6倍以上)までは戻らなかったが、回復の兆しが見られた。従業員規模別に見ると、「5000人以上」企業において求人総数の増加を上回るレベルで就職希望者数が増加したために求人倍率が低下したが(0.37倍)、他規模ではいずれも求人倍率が1倍を超えており、「5000人以上」企業を除いて採用需要が過剰である状況となった。

就職内定率は96.8%で例年と同水準

一方、学生の内定状況を見ると、2023年卒の大学生の3

月卒業時点での就職内定率は、96.8%と、2021年卒(96.1%)、2022年卒(96.4%)と同水準だった(P5・グラフ②)。

月ごとの推移を見ると、2023年卒学生の調査を開始した2月1日時点から前年に比べて高い水準で推移し、企業が早い時期から内定出しを行っていたことがうかがえる。なお、6月1日時点の就職内定率73.1%は、6月選考解禁となった2017年卒以降最も高い数値であった(前年同月差+4.6ポイント)。その後も高い水準で推移し、9月1日時点以降は前年と同水準だった。

学生の価値観の変化への対応の必要性

個人の価値観が多様化する中、学生の働くことへの価値観も多様化している傾向が見られる。例えば、入社後の起業・副業・兼業の予定について調査したところ、2023年卒学生においては、「すでに起業した会社を続けていきたい」「入社後に起業したい」「これまでやっていた仕事を副業・兼

業として続けたい」「入社後に副業・兼業を始めたい」の合計が35.7%と、およそ3人に1人が起業・副業・兼業をしたいという意向を持っていた。前年(29.9%)に比べると5ポイント以上増加している(グラフ③)。

こうした状況を受け、企業が、多様な個人の価値観にも対応したキャリアパスのバリエーションや、そのための入り口を幅広く提供していくことが、働く個人と企業がWin-Winの関係を築いていく上で重要になると考えられる。具体的な方法の一つに、「ジョブ型採用」といわれる職務限定型の採用ルートの設定がある。2025年卒以降の新卒採用に向けて、この採用ルートを「導入する予定」「導入を検討している」と回答した企業の合計は14.2%とまだ多くはないが、従業員規模別に見ると、「5000人以上」の企業において28.4%と最も高く、従業員規模が大きいほど高かった(表④)。そのほかの採用方法や各種人事施策と併せて、多様化の動きの加速に期待したい。

成長し続けるために定期的に環境を変えたい

●IT企業内定・理系学部4年

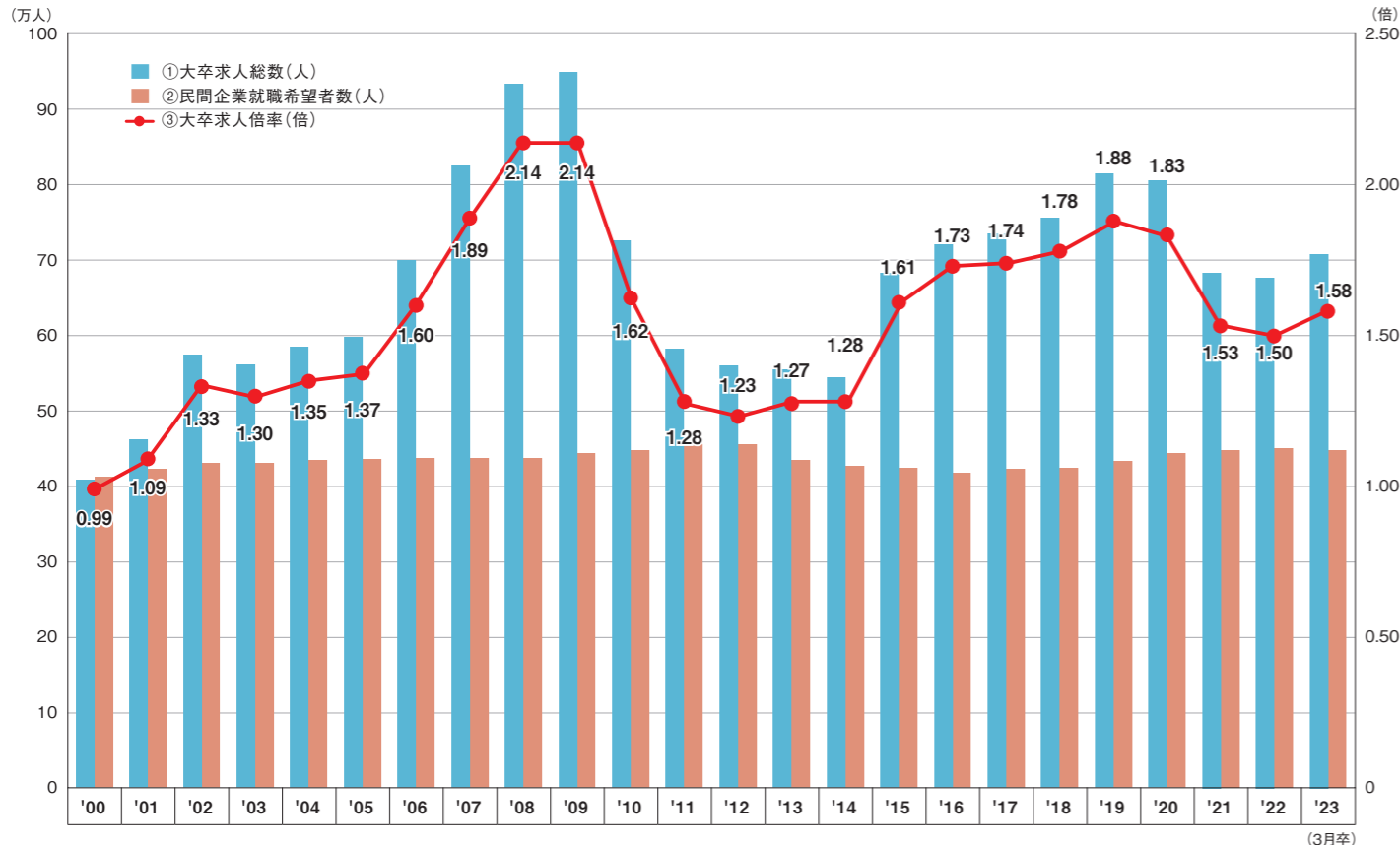
大学2年次に授業で学んだことで興味を持ち、趣味として続けていたプログラミングを仕事にしたいと、IT企業を志望。自分のペースで働きたかったので、原則リモート勤務で出社は時々、個人の生活や体調に合わせて日ごとに勤務時間帯を決められる環境のある自社開発企業を探しました。エンジニアとして成長し続けるために、選考では、他社では経験できない、かつ、少し難度の高いタスクに挑戦できる会社であることや、技術力の高い社員の存在などに注目。これらの条件に合っていて、かつ、話しかけやすく建設的に議論できる人が集まっていそうだと感じた内定先に入社を決めました。

将来的にはメガベンチャーや外資系のテック企業に行ってみようという希望があるので、内定先で経験を積んで、早く2年後、遅くとも3~4年後には転職したいと思っています。3~4年おきくらいのペースでより自分を高められる所に行って、いろんな人と関わりながらいろんなコードを読み、いろんな挑戦をしてエンジニアとして成長していきたいと思っています。



企業 大卒求人倍率は1.58倍。企業の採用意欲に回復の兆し 学生

① 大卒求人倍率・求人総数・民間企業就職希望者数

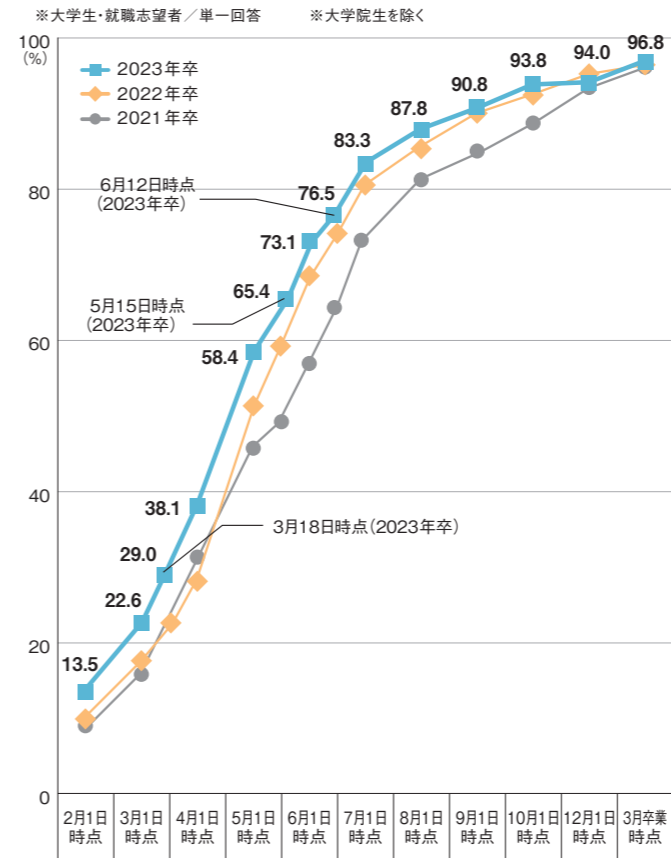


※2021年3月卒の大卒求人倍率は2回調査されており、2月調査は1.72倍、6月調査は1.53倍であった

出典：①②③リクルートワークス研究所「ワークス大卒求人倍率調査」

学生 就職内定率は、前年より高い水準で推移

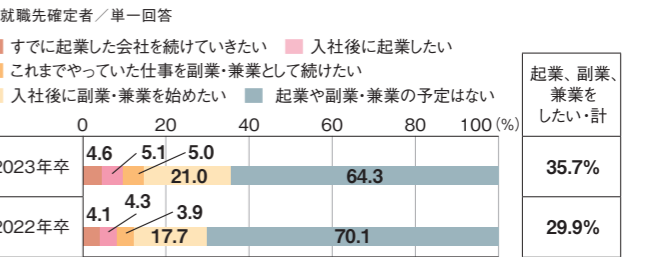
② 就職内定率の推移



(2023年卒 就職プロセス調査)

学生 3人に1人が、入社後に起業・副業・兼業を「したい」「続けたい」

③ 入社後の起業・副業・兼業の予定



企業 2025年卒以降に職務限定型採用を導入/検討する5000人以上の企業は28.4%

④ 2025年卒以降の新卒採用での職務限定型(ジョブ型)採用の導入検討の有無

従業員規模別	n	導入する予定	導入を検討している	導入を検討していない	まだ分からない/実施しない予定	導入検討計
全体	1554	6.8%	7.3%	52.3%	33.6%	14.2%
300人未満	531	6.4%	4.5%	58.4%	30.7%	10.9%
300~999人	522	6.7%	6.1%	53.6%	33.5%	12.8%
1000~4999人	387	6.2%	10.6%	47.5%	35.7%	16.8%
5000人以上	102	11.8%	16.7%	31.4%	40.2%	28.4%